



菊池 浩士 議員
(遠野令和会)

一括質問方式

遠野市総合計画の後期基本計画について

市長 最上位の計画として
着実に推進していく



遠野駅舎

問 遠野駅舎については、コロナウィルスの影響もあり、7年間で経過しており、早期に結論を出さなければならぬと思うが。

答(市長) 財源の問題やJR側との事業費の負担割合など検討すべき事項がまだまだ多く、議論が不足していると感じる。市民の皆さまに、

十分な情報を公開し、結論を導きだしたいと考えている。

問

遠野駅舎、あすもあ、こども本の森遠野を含めた、中心市街地の活性化については、

答(市長) あすもあ活用の活用については、私にもプランはあるが、もっと市民の意見を聞き、より良

問

所信表明演説を聞く、後期5カ年計画に大きな変更は無いと理解したが、それでは

使い方を見つけていきたい。宮守魅力市の話があったが、青年会議所の若い人たちのやる気、活気を感じた。中心市街地の活性化と一緒に取り組みたいと考えている。

答(市長) 最上位計画と考えている。着実に推進していくことに変わりはない。

その実現に向けて、市民の皆さまとの語り合いの中から新たな仕組みづくりや、民間活力の導入など可能性を見出し、取り組みを加速させていきたい。

新型コロナウイルス収束後の経済活動について

市長 最大の注意を払って経済活動をやりましょう

問 「コロナ収束を見据え、市民に積極的なメッセージを発信してはどうか。」

答(市長) 市民の生命、暮らしを両方守っていく。ある時は相反することであっても勇気を持って経済活動をやっていく。

問

感染が抑えられている今、戦略的に集客を図るため積極的なPRを行うべきではないか。

答(市長) 観光協会を先頭に、戦略を見直して、議員や市民にも参加していただき、遠野の良い所を発信していく考えでいる。

公約 介護専門学校の創立

市長 真意は誘致。
民間による設立を期待する

問 県内には、介護福祉士を養成する学校が6校あり、学びの場は足りているものと考ええる。法的なハードルも高い。

答(市長) 介護専門学校を誘致する必要性とその具体策は、

遠野の介護人材が不足している。さらに、大学など上位校があれば、様々な波及効果も期待ができる。民間に頼る部分が大

きいが、設立を支援し介護専門学校の誘致を図りたい。

問

介護報酬と受益者負担のバランス、要支援・要介護者の将来推計、介護職員の処遇など、介護を取り巻く現状についての認識を伺う。

答(市長) 昨年度の介護保険特別会計の保険給付費(歳出) 決算額は約32億500万円。介護保険料(歳入) は約6億

500万円。ほかは、国・県交付金や市からの繰入等で運営している。大きな額である。現在、65歳以上の高齢者はおよそ1万5000人。要支援・要介護者は2100人。「団塊世代」が75歳以上となる令和7年に要支援・要介護者の人数がピークを迎え、その後は緩やかに減少する。

高齢化率のピークは「団塊ジュニア」が65〜70歳になる令和22年ころと予測される。従事者の処遇、特に

も給与体系が他産業と比べて低いなど、さまざまな課題があることを認識している。

即効性ある人材確保策を

市長 どのような協力体制がとれるか相談したい



介護は、遠野にとって欠くことのできない分野です

問

離職(他産業への転職など)を防ぐような、喫緊の人材不足に対する策が望まれているのではないかと。職業の選択には自由がありつつも、政策的に介護職への誘導を図るべきではないか。

答(市長) 介護従事者をサポートする様々な仕組みが必要であるが、各施設の経営・運営にも影響してくる。もっと、働く人と施設、利用者のそれぞれの立場の話を聞いてみたいと考えている。

菊池 美也 議員

一問一答方式

その他の質問

●財政の安定化について

